

# 学校教育課だより

# かけはし

## 「熱く語り合う、

## 御殿場・小山授業研の原点」

### 学校教育課長

### 鳥越 雅幸



「汝自身をしれ」吾日に三たび省みる」という言葉があるように、これまでや現在の自分、そして将来こう在りたいという自分を静かに見つめ直すことは、自己の向上を願って生きていく上で重要なことである。これは、道徳の内容項目の指導の観点（中学校学習指導要領解説）に書かれている一文です。六月十七日に御殿場市・小山町授業研修会が行われました。内容項目一の（五）「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する」を主題とした授業

を参観しました。導入時の映像をめぐる話し合い（資料への導入なのか、ねらいとする価値への導入なのか、価値への導入だった場合、今回の映像は効果的だったか・・・）から始まり、ねらいとする価値の内面的自覚が図られたかについて、生徒の具体的な発言やワークシートに書かれたことをもとに、熱く語り合う先生方の姿と冒頭の自己の向上を目指す生き方が重なりました。御殿場・小山それぞれの学校で同じ光景が見られたのではないかと思います。

携一貫研修において道徳を窓口に研修してまいりました。この研修を通して改めて道徳の時間の指導の肝ともいえる基本的なことを学びました。そもそも道徳の時間は「本時のねらい」であり、「本時の目標」ではありません。それは、「道徳の時間」は、教科のように基準としての目標を設定するものではなく、一人一人の児童・生徒がどれだけねらいに迫ることができたかを大切に評価する個人内評価だからです。したがってねらいをたてる際は、価値に対する、他でもない、我が学級の児童・生徒の道徳性の実態把握から、指導要領解説をもとにしほりこみ、焦点化することが大切です。また、資料の性格、持ち味などを含めた深い資料吟味が必要になります。

年四月一日から、中学校においては平成三十一年四月一日から新たな道徳教育が施行されます。いわゆる「特別の教科 道徳」が始まります。主な改善点として、目標を明確で理解しやすいものに改善する、多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善する、検定教科書を導入する、一人一人の良さを伸ばし、成長を促すための評価を充実させることなどが挙げられています。流行への備えは必要ですが、「今」の道徳をしっかりとやることが大切だと思います。

## 「教師力向上講座 架け橋」始まる

本講座は、若手教員や講師の教師力を高めるとともに、伝統ある北駿の教育を傳承していくことを目的として、今年度三年目を迎えました。年々参加希望者も増えてきており、本年度はついに百名を超える参加者となりました。

第一回は、前御殿場小学校校長、教育指導センター指導員の岩田京子先生が「子ども理解」というテーマで講義を行いました。

子ども理解は、あらゆる指導の基盤となります。確かな子ども理解のために必要な要素、教師が持つべき資質や心構え、信頼関係を築くコツなどを、豊富な体験談をもとにお話しいただきました。参加者が、今の自分と重ねながら、改めて教師としての自分を振り返ることができました。

以下、参加者の振り返りをいくつか紹介します。

- ・ 学級菜園のトマトが二日前にやつと実をつけました。水やり当番の生徒がうれしそうに報告してくれたのに、忙しさのあまり一緒に喜びを共有できなかったことを考えました。明日は、トマトの件も含めて、たくさん褒める一日にしたいです。（中学校教員）
- ・ 教師になりたいと思っただけは、自分の思いを理解してもらえない悲しみからでした。しかし、実際自分が現場に入ってみると、忙しさから子ども一人一人の心の声を聴き取れていなかったように思います。今日改めて初心に戻ることができました。（小学校教員）

・ わたしは講師一年目で、学校で子どもたちと最も年齢が

学校教育課だより  
「かけはし」  
【第4号】  
平成 27 年  
7 月 17 日発行  
御殿場市教育委員会





音楽の専門的指導以外にも、担任の思いと子どもの思いとの融合、音楽の授業と学級活動との連動と歌詞の吟味の大切さなど、質の高い合唱を産み出すためのポイントについても触

近いです。子どもたちが親しみをもって接してくれるのはよいのですが、自分の中で「教師という立場」「威厳」を意識するあまり、子どもより優位に立とうとしているのではないかと本日の講義を聞いて感じました。子どもたち一人一人の人格を尊重し、子どもに寄り添う指導を心掛けていきたいと思えます。

（小学校教員）

合唱曲の選定と合唱練習が本格的に始まる六月に実施した第二回は、高根中学校の土屋純子先生に講師をお願いしました。今回は、「学級経営における合唱指導」というテーマで演習形式の講義となりました。研修会当日は、東小学校の谷口知子先生にもピアノ伴奏者として参加いただきました。

れていたできました。

以下、参加者の振り返りをいくつか紹介します。

・マジックにかかったように、グイグイ合唱の世界に引き込まれていきました。歌っていて心地よさも感じ、合唱のよさを改めて感じました。自分ができることは限られていますが、音楽の喜びや楽しさを伝えていきたいです。

（小学校教員）

・一番の悩みは合唱指導です。

合唱でクラスの子どもたちによい思い出を作ってもらいたいと思つて、この講義に臨みました。ただ「声を出せ」という指導ではなく、意識させたい点を明確にしてから歌ったり、体全体で歌を表現したり、自分以外のパートの声を聞きながら歌ったりするなど、のポイントをいくつか知ることでできました。わたし自身

も合唱が苦手です。なので、その子の気持ちにもなつて指導したいです。（中学校教員）

・いよいよ合唱コンクールに向けて本格的になる時期ですが、今回は初めて担任を持つため、どのように指導をすればよいかわからない状態でした。本日の講義で、実際に自分の体を動かし、体感しながら学ぶことができました。リズムに乗る、楽しく歌うなど、学級に持ち帰って、今後の指導に取り入れていきたいと思えます。

（中学校教員）

学校における教員の年齢構成が今後変化していく中、若手教員の育成、研修の充実が御殿場市の教育発展のために重要です。参加者が自校に戻り、講座で学んだことを教育活動に生かしてくれることを期待しています。【石田善止】

稚園、神山幼稚園を会場に開催されました。

教員二年目の先生方は、各幼稚園の各クラスに入り、子どもたちと触れ合いました。

二年目の先生方は、幼稚園の先生方の子どもへの関わり方や話し方、子どもの見取り方などを真剣に学んでいました。また、幼小中のつながりを意識しながら、幼稚園教育の理解を深め、小中学校での指導に生ずる必要性を強く感じ取っていました。

さて、この日は、「虫歯予防デー」で、各園では『よい歯の集い』を行いました。二年目の先生方も劇の役をもらい、役になりきって楽しそうに演じていました。

神山幼稚園の年少クラスには、朝からA先生が入っていました。年少クラスでは、『よい歯の集い』で子どもたちが怖がらないようにという配慮から、バイ菌役に扮したA先生と事前に接する機会を設けました。

会を設けました。角をつけて、槍を持ったA先生が登場した瞬間、子どもたちの表情が一変したのです。ただ、角をつけただけなのに、



A先生という認識よりも、バイ菌マンという意識が勝った感じでした。必死で逃げ回る子どもたち。なんと泣き出してしまふ子まで…。

その中で、正義感が強いBさんは、逃げ回っていたかと思つたら、急にA先生に向かつていくようになったのです。そして、A先生の手をつかんだその瞬間。「がぶり！」「うっ…痛っ！」BさんがA先生の腕に噛みついていました。

A先生の表情から一瞬間、笑顔が消え、（なんで…）という驚きの表情に変わりました。A先生が、再び角を取って現れると、「A先生！」と元に戻る子どもたち。純粋な子どもたち一人一人の感情の変化がよく表れたひとときでした。

『よい歯の集い』の日に、「歯」つながりの事件でした。三園の先生方、事前の準備から当日の指導まで、大変お世話になりました。【長澤広志】



二年次研修  
事件発生！

平成二十七年六月四日（木）  
に二年次研修（幼稚園参観）が、御殿場幼稚園、森之腰幼